

第13回ダイズ研究会 プログラム

(名古屋大学大学院生命農学研究科共催)

開催日時: 令和7年2月14日(金)~2月15日(土)

開催地: 名古屋大学 野依記念学術交流館 2F カンファレンスホール

※敬称略

2月14日(金曜日)	
12:55~13:00	開催の挨拶 開催代表者 中園 幹生(名古屋大学)
13:00~14:20	セッション1(東海地区の大豆の食品加工, 流通と行政)
13:00~13:20 (20分)	中嶋 菜衣(株式会社 Mizkan) 「(仮)納豆の商品開発と原料大豆」
13:20~13:40 (20分)	岩崎 充弘(マルサンアイ株式会社) 「豆乳に適した大豆(おいしさの追求)」
13:40~14:00 (20分)	石黒 貴寛(旭松食品株式会社) 「凍り豆腐とレジスタントプロテインの健康機能性」
14:00~14:20 (20分)	牧枝 竜二(東海農政局生産部生産振興課) 「(仮)東海の大豆をめぐる事情」
14:20~14:30	(休憩)
14:30~16:10	セッション2(ダイズの基盤情報・技術とその利用)
14:30~14:50 (20分)	石本 政男(農研機構 作物研究部門) 「第3期SIPにおける「ダイズの育種基盤構築と栽培技術確立」の取り組み」
14:50~15:10 (20分)	矢野 亮一(農研機構 高度分析研究センター) 「大豆における大規模ゲノム情報基盤の構築」
15:10~15:30 (20分)	鐘ヶ江 弘美(農研機構 農業情報研究センター) 「育種データを最大限に活用する「育種支援システム」の開発」
15:30~15:50 (20分)	石橋 和太(農研機構 生物機能利用研究部門) 「(仮)ウイルスベクターを用いた組織培養を介さないゲノム編集技術」
15:50~16:10 (20分)	山田 哲也(北海道大学) 「(仮) iPB-RNP法を介したダイズのゲノム編集とその利用」
16:10~16:20	(休憩)
16:20~17:10	ポスター発表(奇数番号)
17:10~18:00	ポスター発表(偶数番号)
18:30~	懇親会(ユニバーサルクラブ(予定))
2月15日(土曜日)	
9:00~10:40	セッション3(ダイズを含むマメ科の基礎研究)
9:00~9:20 (20分)	征矢野 敬(基礎生物学研究所) 「周期的サイトカニン応答による根粒菌感染の空間的制御」
9:20~9:40 (20分)	杉浦 大輔(名古屋大学) 「マイクロコントローラーで加速させるダイズの生理生態学研究」
9:40~10:00 (20分)	岩田 洋佳(東京大学) 「作物×微生物叢ホロバイオントのモデル化とそれに基づく機能向上を目指して」
10:00~10:20 (20分)	西田 帆那(農研機構 生物機能利用研究部門) 「N2O還元根粒菌を優占感染させるダイズ根粒共生系の構築による圃場由来N2Oの削減」
10:20~10:40 (20分)	番場 大(東北大学大学院 生命科学研究科) 「根粒菌における多様性創出メカニズムと植物成長へのインパクト」
10:40~10:50	(休憩)
10:50~12:10	セッション4(ダイズ生産に関わる研究)
10:50~11:10 (20分)	森崎 耕平(愛知県 農業総合試験場) 「愛知県における大豆の多収阻害要因とその指標化」
11:10~11:30 (20分)	加藤 信(農研機構 作物研究部門) 「(仮)米国多収品種を交配母本とした多収大豆品種の育成」
11:30~11:50 (20分)	山崎 諒(農研機構 作物研究部門) 「(仮)ダイズ極多収品種の多収要因の解析」
11:50~12:10 (20分)	高橋 智紀(農研機構 中日本農業研究センター) 「(仮)灌水支援システムによる大豆の乾燥ストレス時期の特定と灌水の効果」
12:10~12:15	閉会の挨拶 ダイズ研究会代表 石本 政男(農研機構 作物研究部門)